

今日の限界芸術

福住廉

KONNICHI NO GENKAI GEIJUTSU

今日の限界芸術
福住廉
REN FUKUZUMI

気鋭の美術評論家・福住廉による待望の現代美術評論集。

「限界芸術」=アマチュアがつくってアマチュアが受け取るモノ。60年代に評論家・鶴見俊輔が唱えたこの思想言語を援用しながらその今日的妥当性を検証した「限界芸術論」のほか、街のグラウンド・レベルで繰り広げられる表現活動に迫った「都市考現学」、アーティストの受容のされかたに目を向けた「画壇アイドル論」など、現在進行形のアートに多様なアプローチで軽やかに切り込む。鶴見俊輔との対談、注目のアーティスト集団Chim ↑ Pom・卯城竜太、トリオフォー・山下陽光との対談も収録。

「今日の限界芸術」 著者：福住廉 四六判 352ページ 定価 2,100円 (本体 2,000円+税)

BankART 1929